



ヒデヨくんが店頭で啓発活動

猪苗代署管内の交通安全運動出動式



スーパーの入口でチラシなどを配るヒデヨくん

4月5日に行われた猪苗代警察署管内の春の交通安全運動出動式で野口英世博士の着ぐるみ「ヒデヨくん」がデビューしました。出動式には同署と猪苗代、磐梯、北塩原の3町村の交通安全団体から約80人が参加。鈴木榮太郎猪苗代地区交通安全協会会長、横田雄也同署長があいさつ、前後町長が祝辞を述べました。出動式後、ヒデヨくんは他の参加者らと共に町内のスーパーに移動。買い物客らにチラシなどを配布し、交通安全を呼び掛けました。今後も町内のイベントなどに登場する予定ですので、よろしくをお願いします。

納税への長年の協力に感謝

退任納税貯蓄組合長に感謝状贈呈



前後町長から感謝状を受ける佐藤作一さん(左)

町納税貯蓄組合永年在職(退職)者に対する表彰式は4月15日、町役場正庁で行われました。表彰は、町納税貯蓄組合長大会の席上で行われ、長年にわたり組合長を務めた皆さんに、前後町長から感謝状とお礼の言葉が贈られました。感謝状を受けた皆さんは次のとおりです。(敬称略。かっこ内は行政区)
阿部浩一(八千代)、佐藤清吉(関脇)、野矢健正(曲淵)、故岡部六三郎(九軒町)、佐藤清(都沢)、笠間嘉孝(壺下)、六角篤(金曲)、長谷川和彦(川桁)、武藤馨(白津)、渡部清昭(水沢)、渡部俊彦(大原)、佐藤作一(達沢)

忘れてはいけない 2011.3.11

東日本大震災合同慰霊祭の絵画を贈呈



寄贈された絵画『忘れてはいけない 2011.3.11』

古い師、細木数子さんの弟で画家の細木久慶さんは4月28日、町と町内の小・中学校に自作の絵画とレプリカを寄贈しました。贈呈された作品は30号(909mm×727mm)の絵画『忘れてはいけない 2011.3.11』。2011年5月の亀ヶ城桜まつりの際に行われた、東日本大震災合同慰霊祭の様子を描いたものです。細木さんは新聞に掲載された慰霊祭の写真を見て、一致団結して立ち上がろうという姿に感銘を受けてこの絵を描き上げました。30号の絵画1点が町に、レプリカが町内の各小・中学校に1点ずつ贈られました。30号の絵画は、来年4月に開館予定の(仮称)町ふるさと歴史館に展示する予定です。

贈呈式は同日、カメラーナで行われました。主催者である町商工会町支部の大川原勝人支部長が「避難を余儀なくされている方々がふるさとに帰れるよう願う」とあいさつ。細木さんが「絵を贈ることで被災地を支援したい」とあいさつを述べ、前後町長に作品を手渡しました。この席上では町からの感謝状贈呈も行われました。前後町長は、細木さんに感謝状を手渡し「本町の美術文化の振興に多大な貢献をいただいた。震災のことを忘れてはいけないとあらためて感じました」とお礼の言葉を述べました。



感謝状を受け取り、前後町長と握手する細木さん(右)

優秀な自衛官の輩出に期待

自衛官募集相談員の委嘱状交付式



(前列左から)長沼さん、渡部さん、小林さん

町と自衛隊福島地方協力本部による自衛官募集相談員の委嘱状交付式は4月9日、町役場正庁で行われました。式では前後町長が「信望の厚い皆さんの力添えにより、郷土愛にあふれた、地域を守る使命に燃える優秀な自衛官となる若者が多く輩出されることを期待します」とあいさつ。3人の相談員に委嘱状を手渡し、自衛官志願者に関する情報提供や自衛官募集の広報に対する支援をお願いしました。委嘱を受けた皆さんは次のとおりです。(かっこ内は行政区)
小林隆一さん(杵次)、渡部昭さん(金曲)、長沼則男さん(四ツ谷)

霜の被害から農作物を守る

町農林課内に防霜対策本部を設置



看板を設置する一ノ瀬統括支店長(右)と前後町長

農作物を霜の被害から守るため、関係機関と連携し対策技術の指導や関連情報の提供などをする町防霜対策本部は4月16日、町役場農林課に設置されました。役場正面玄関で行われた看板の掲額式では、前後町長が「本町における一年間の農作業が安全に行われ、無事、実り多い秋を迎えられるよう祈ります」とあいさつ。一ノ瀬正義JAあいつ猪苗代地区統括支店長と一緒に看板を掲げました。対策本部の設置期間は5月末までの約一月半となっています。農作物の管理にご注意ください。



学習と教養の拠点として期待

(仮称)ふるさと歴史館新築工事安全祈願祭



神事終了後にあいさつを述べる前後町長

(仮称)猪苗代町ふるさと歴史館の新築工事安全祈願祭は4月12日、土津神社で行われ、関係者が工事の安全を祈願しました。

神事では前後町長、鈴木武喜町議会議長や設計、施工業者らが玉串をささげました。祈願祭の後、前後町長は「歴史、文化の拠点として多くの人に利用してもらえると確信している」とあいさつ、鈴木武喜町議会議長が「当町の良さを発信できる施設となるよう町行政と共に努力していく」と祝辞を述べました。

同館は今年の12月下旬に完成予定で、来年4月1日の開館を目指しています。

同館は、町の振興計画が目指す「豊かな自然とすべての命を大切に作る活気あるまちづくり」にふさわしい、全ての町民に開かれた、気軽に楽しく集える、町民に愛される図書館とする基本理念に立ち、次のような施設の整備を目指します。

- ① 誰もがいつでも気軽に入りやすく、本や展示物を介したコミュニケーションの広がる空間を創造します。
- ② 本を通して町民の学習意欲を高め、学ぶ・読む・調べる楽しさを提供します。
- ③ 読書会や講演会、移動図書を開催し、積極的に町民へ本を読む楽しさを提供します。
- ④ 町の自然や歴史を紹介し、史跡や文化財の資料を展示します。
- ⑤ 町民の教養を高めるため図書や文化財などの企画展を開催します。

施設の整備概要

建設場所	猪苗代町字古城町地内	
建築構造	鉄筋コンクリート造 平屋建て	
建築面積	1,170㎡	
延床面積	1,070㎡	
主要施設	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・大人向け図書 30,000冊 ・児童向け図書 15,000冊 ・地域資料コーナー 4,000冊 ・視聴覚コーナー 1,000点 上記の他、読書室、お話コーナー、授乳室などを設置
	歴史情報館	文化財やパネルなどを展示
	喫茶ラウンジ	
	事務室	



完成予想図(施設内)



完成予想図(施設外観)

今年もおいしい野菜を作ろう

アグリいなで町民農園の開園式



開園式に臨んだ利用者の皆さん

季節外れの雪となった4月21日、町地域農業活性化センター(アグリいな)では25年度の町民農園開園式が行われました。

この農園は、農作物の栽培を通して農業に対する理解を深めてもらおうと、昨年5月に町が開設したものです。昨年は8組が利用、今年は約2倍の17組が野菜作りなどを楽しみます。

昨年農園を利用している星宝男さん、由美子さん夫妻は「家庭菜園のものとは味が全然違う。今年は昨年以上においしいものを作りたいです」と抱負を述べました。

※利用者随時募集中です。 ☎アグリいな ☎(85)7816

町保健協力員に委嘱状交付

退任保健協力員に感謝状の贈呈も



前後町長から感謝状を受ける小林さん(左)

町保健協力員委嘱状交付式は4月16日、町役場正庁で行われ、118人が委嘱を受けました。この席上で、長年協力員を務め退任した皆さんに前後町長から感謝状が手渡されました。感謝状を受けた皆さんは次のとおりです。(敬称略。かっこ内は行政区)

熊木茂野(古城町)、佐藤美津子(神明町)、宇月静子(新北町)、小林慧美子(見祢山)、佃峯子(桜ヶ丘)、橋谷田一枝(行津桜川)、遠藤道子(金子沢・三本木)、渡部周代(仁蔵)、星野あけみ(上ノ上)、河村国子(上戸駅前)、吾妻利子(明戸)、新明久美子(樋ノ口)、渡部玉代(小田)、菊地幸子(大原)

農業に親しむきっかけに

J A あいづが小学校に教材を寄贈



左から岩橋代表理事専務、棚木さん、鈴木さん、土屋教育長、大堀校長

J A あいづは4月22日、町内6小学校の5年生に補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を寄贈しました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、J A あいづの岩橋直芳代表理事専務が「この教材で米や野菜の作り方などを学び、農業に親しんでほしい」と千里小学校5年生の鈴木湖也さんと棚木凛さんに教材を手渡しました。鈴木さんと棚木さんは「ありがとうございます。大切に使います」とお礼の言葉を述べました。千里小学校の大堀浩平校長は「地域に誇りを持ってもらうために活用したい」と感謝の言葉を述べました。